

ネガネガうさぎの日々

道-michi

はじめに

私はうさぎ。

ネガネガ国の血を引くうさぎ。

ネガネガ出身の父親と、ポジポジ出身の母親の間に生まれた。

姉は超が付くほどポジポジの血を受け継ぎ
私は超が足りないほどネガネガの血を受け継いだ。

生きていくって大変だよね、
生きていくってツライよね。
ネガネガはいつもそう、ネガネガ思う。

ポジポジ姉はそんなネガうさぎを見ては言う。

「そんなんじゃ生きててツラくな〜い？」

そう、ツライのです。

よく泣くうさぎ

ネガうさぎは、すぐに泣く。

人前でも人目を忍んでも

シクシクシクシク

涙が出て出て

鼻水が出て出て

息が出来なくなって

頭が痛くなる。

世の中、悲しいことが多すぎる。

人生、苦しいことが多すぎる。

生きるのはとてもツライ。

涙がボロボロ落ちてても、その辛さは一緒には流れていってくれない。

ああ、なんて無駄な水分。

乾いちゃうよ、お肌が。心が。

でも、嬉しくても泣くうさぎ。

嬉しい涙は、いくら流しても流れても

全然乾かないのにな。

うさぎの中には

「悲しい涙用」のダムと
「嬉しい涙用」のダムが

共存しているんだけど

どちらも枯れることがなくて、それはうさぎの七不思議。

悲しい涙用のダムは、心のダムと繋がっていて
放流されると心が乾いてひび割れて
痛くて苦しくて、
もっともっと涙が出て、
もっともっと乾いちゃう。

嬉しい涙用のダムだって、心のダムと繋がっているのに
なんで放流されても乾かないんだろう？
どんどんどんどん増水してね、タップタブになる。

そうすると、うさぎの心はウルウルしてね、
ほわ〜んと眠くなってしまうんだ。

うさぎは悲しく泣くと目が真っ赤になっちゃう。

嬉しく泣くと、目は黒くピカピカ輝くのにな。

ネガネガ国の電波状況

ネガうさぎは、三十路独身、無職である。

無職というか、まあかっこつけたらフリーランス。

その実は無職だ。

ネガティブで三十路独身のプー。

趣味もやるべき事もやりたい事も

気付いたら消えていた。

ネガうさぎは、いつからそれを失くしてしまったのかな。

ネガネガネガネガ...

近くで遠くで、いつもネガネガ国の電波が流れてる。

キャッチしちゃうと、ツライから、

出来ればあの国の電波は遮断してしまいたいものだけど。

最近買ったスマートフォンより、ネガネガ国の電波は超強靱。

誰も望んでいないのになあ...